

平成25年度事務事業カルテ

										<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()			
事業名		北陸新幹線協議推進事業		含まれる事業数		3		所 属		<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他			
福井新々元気宣言における位置付け		<input checked="" type="checkbox"/> 有 →ビジョン [元気な県土 <input type="checkbox"/> 無 政 策 [県土に活気の高速交通時代		事業区分		<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他		<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他		新幹線建設推進 課(室) S42 年度 経過年数 47 年 事業終了 予定年度 一 年度 事務区分 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			
[事業目的]													
北陸新幹線の県内区間の早期整備が実現されるよう、積極的に国および関係機関等に働きかけるとともに、情報の収集を行う。													
[事業内容]													
(1) 県内区間の早期整備が実現するよう国、関係機関等への働きかけ (2) 北陸新幹線建設促進同盟会 負担金 (3) 福井県北陸新幹線建設促進同盟会 負担金													
[予算額および指標の推移等] (単位：千円)													
区 分		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等				結果分類	
当初予算額の推移		28,584	28,857	28,322	15,178	7,435	△24.6%						
2月現計予算額の推移		12,584	28,857	28,322	15,178	7,435	27.0%						
決算額の推移		11,144	9,710	9,256	14,104		11.6%						
事業効果 の推移	活動	中央要請	12回	6回	12回	11回							I
	指標	県同盟会活動(総会、理事会、大会)	2回	3回	4回	3回		19.4%					I
計画の達成状況		[目標名] 年度整備水準[] / 整備目標 年度 [] = []											
区 分		平成25年度予算額		事業開始後の見直し状況				特 記 事 項					
予 算 額 (単位：千円)		7,435						平成17年4月 福井駅部認可 平成21年2月 福井駅部完成 平成24年6月 金沢・敦賀間認可 平成24年11月 福井県北陸新幹線建設事業推進会議設置 平成25年7月 北陸新幹線整備促進本部設置					
財源内訳	国 庫												
	その他特定財源												
	一 般 財 源		7,435										
[事業の評価]													
所属の 方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 北陸新幹線の早期整備について、本年7月に設置した北陸新幹線整備促進本部において、金沢開業から8年後の平成34年度には敦賀開業が可能であり、工法や工程などの工夫により、さらに短縮可能とする本県独自の検討結果をまとめ、与党プロジェクトチームや国土交通大臣、鉄道・運輸機構に説明し、早急な整備スキームを求めた。また、県内各界と一体となり、政府・与党に対し機会あるごとに、敦賀までの1年でも早い開業の実現を強く訴えた。												
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 北陸新幹線は東海道新幹線の代替機能を果たす路線であり、東海、東南海、南海地震に備えた日本海側の国土軸を早期に形成できるよう、国土強靱化を加速すべき。 1年でも早い敦賀までの完成・開業の実現により経済効果を早期に発現させることが、日本全体の経済を元気にする成長戦略につながることを訴え、県選出国會議員を先頭に、引き続き政府・与党および関係機関に対し強く要請していく。												
	評価に基 づく今後 の対応			<input type="checkbox"/> 拡 充 <input checked="" type="checkbox"/> 継 続 <input type="checkbox"/> 整 理 統 合 <input type="checkbox"/> 見 直 し 額			<input type="checkbox"/> 縮 減 <input type="checkbox"/> 休 止 <input type="checkbox"/> 廃 止 <input type="checkbox"/> 千 円			<input type="checkbox"/> 終 期 の 見 直 し <input type="checkbox"/> 完 了 <input type="checkbox"/> そ の 他			

平成25年度事務事業カルテ

				<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()						
事業名: 北陸新幹線用地対策事業		含まれる事業数: 1	所 属: 事業区分	総合政策: <input type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input checked="" type="checkbox"/> その他	部(庁): <input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	新幹線建設推進: 事業開始年度: H24年度 経過年数: 2年	課(室): 新幹線用地対策室	事業終了予定年度: 一年度	事務区分: <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	
福井新々元気宣言における位置付け: <input checked="" type="checkbox"/> 有 → ビジョン [元気な県土] <input type="checkbox"/> 無 政策 [県土に活気の高速交通時代]										
[事業目的] 鉄道・運輸機構から県へ用地買収事務が委託された。必要な用地の円滑かつ迅速な確保を進めることで、早期の工事着手と完成を目指す。										
[事業内容] 北陸新幹線の福井県内の用地取得に関する事務 (内 容) ・ 用地取得計画の策定 ・ 土地境界確認 ・ 土地物件等の調査 ・ 補償金の算定 ・ 用地交渉 ・ 契約 ・ 登記事務等										
[予算額および指標の推移等] (単位: 千円)										
区 分		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等		
当初予算額の推移					5,053	11,456	126.7%	結果分類		
2月現計予算額の推移					1,549	8,929	476.4%			
決算額の推移					1,548	—				
事業効果の推移	活動指標							用地業務のため、活動指標を数値化することが困難		
	成果指標	買収累計面積			0	—				
計画の達成状況		[目標名] 年度整備水準 [] / 整備目標 年度 [] = []								
区 分		平成25年度予算額		事業開始後の見直し状況			特 記 事 項			
予 算 額 (単位: 千円)		8,929					【地元説明・協議 300回】 ・ 中心線測量の地元説明(あわら市～南越前町) 250回 ・ 地形測量の地元説明(敦賀市) 13回 ・ 福井市保留地の取得協議 12回 ・ 工事関係の地元説明 25回 平成25年 6月 九頭竜川橋りょう詳細設計発注 平成25年12月 新北陸トンネル(大桐工区)発注 平成26年2～3月 高架橋等の概略設計発注 平成26年 3月 新北陸トンネル(葉原工区)発注			
財源内訳	国 庫									
	その他特定財源	8,929								
	一 般 財 源									
[事業の評価]										
所属の方針	[活動指標、成果指標に対する評価]				評価に基づく今後の対応	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input type="checkbox"/> 縮 減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し		
	・ 中心線測量(あわら市～南越前町)や地形測量(敦賀市)が年度末までに概ね完了された。 ・ 福井市土地区画整理事業区域内の新幹線用地について、2月に取得契約が締結された。 ・ 九頭竜川橋りょうの詳細設計は6月、高架橋等の概略設計は2～3月に発注された。 ・ 新北陸トンネルについて、奥野々工区の準備工事が2月に着手されるとともに、大桐工区、葉原工区の工事が発注された。					<input checked="" type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 休 止	<input type="checkbox"/> 完 了		
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容]					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> そ の 他		
	・ 鉄道・運輸機構と連携し、地元集落との設計協議を沿線市町とともに速やかにかつ丁寧に進め、できるだけ早く完了させ、円滑な用地取得と早期の工事着手を図る。 ・ 九頭竜川橋りょう(下部工)の工事着手 ・ 新北陸トンネル(奥野々、大桐、葉原工区)の工事の促進					見直し額	千 円			

平成25年度事務事業カルテ

										会計区分 <input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()							
				所 属		総合政策		部(庁)		新幹線建設推進		課(室)					
事業名		並行在来線対策事業		含まれる事業数		3		<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他		<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業開始年度 H24年度 経過年数 2年		事業終了予定年度 一年度 事務区分 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			
福井新々元気宣言における位置付け		<input checked="" type="checkbox"/> 有 →ビジョン [元気な県土] <input type="checkbox"/> 無 政策 [県土に活気の高速交通時代]															
[事業目的] 県や沿線市町、経済界等の関係機関で構成する並行在来線対策協議会において、北陸新幹線の敦賀開業時にJR西日本から経営分離される並行在来線（北陸本線 石川県境・敦賀間）のあり方について協議する。																	
[事業内容] (1) 協議会、幹事会の開催 (2) 北陸本線の現況調査の実施 (3) 広報の実施																	
[予算額および指標の推移等] (単位：千円)																	
区 分		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等					結果分類				
当初予算額の推移						4,900	—										
2月現計予算額の推移						4,900	—										
決算額の推移							—										
事業効果の推移	活動指標	並行在来線対策協議会・幹事会の開催															
	成果指標																
計画の達成状況		[目標名] 年度整備水準[] / 整備目標 年度[] = []															
区 分		平成25年度予算額		事業開始後の見直し状況						特 記 事 項							
予 算 額 (単位：千円)		4,900								平成24年3月9日 並行在来線の経営分離に同意すること、経営分離後もその存続を図ることについて、県と沿線市町が合意 平成24年5月16日 県と沿線市は、並行在来線の経営分離に関する国からの照会に対して同意回答 平成25年3月29日 並行在来線対策協議会(県、沿線市町、経済団体、利用者団体、交通事業者など)を設置							
財源内訳		国 庫															
		その他特定財源															
		一 般 財 源		4,900													
[事業の評価]																	
所属の方針		[活動指標、成果指標に対する評価] ・並行在来線の安全・安定運行の確保に必要な鉄道施設を把握するため基礎資料となる北陸本線の現況調査（鉄道施設の整備状況等）を実施した。 ・調査結果については、並行在来線対策協議会に報告し、経営分離後の安定的な運行を確保するための鉄道施設の整備のあり方について検討した。 [今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] ・県民の日常生活に欠かせない重要な社会基盤である並行在来線を地域鉄道として存続させるため、並行在来線対策協議会において、経営形態、列車の運行形態、負担および支援等について協議していく。						評価に基づく今後の対応		<input type="checkbox"/> 拡 充 <input checked="" type="checkbox"/> 継 続 <input type="checkbox"/> 整 理 統 合 見 直 し 額		<input type="checkbox"/> 縮 減 <input type="checkbox"/> 休 止 <input type="checkbox"/> 廃 止		<input type="checkbox"/> 終 期 の 見 直 し <input type="checkbox"/> 完 了 <input type="checkbox"/> そ の 他 千 円			